

未来を見据え、 質の高いサービスを提案

株式会社ヤマシタコーポレーション 代表取締役社長

山下和洋さん

Kazuhiro Yamashita



静岡発祥に誇り

真面目で謙虚、フレッシュなイケメン社長である。2代目社長だった父親の山下一平氏が昨年7月急逝し、入社4年目、25歳で社長職を引き継いだ。「経営者として未熟な部分もあるので、研さんを積み、一日も早く一流になりたいです。そのためには、まず必死に働くことだと思っています」。

ヤマシタコーポレーションは、リネンサプライ会社として1963年に清水市(現静岡

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

岡市清水区)で創業。昨年が創立50周年。現在は、①福祉用具レンタル・販売、②ホテルリネンサプライ、③病院リネンサプライ、

④リースキングが経営の柱。2000年4月の介護保険制度導入を機に、売り上げが一気に伸びた。その背景には地道な努力や介護保険導入をにらんだ入念な準備があったようだ。

柱の一つ、福祉用具レンタル事業は東京など首都圏、近畿、名古屋で需要が増えている。「年間7.5%伸びている成長市場な

ので確実にシェアを取っていききたい」と意欲を示す。

自他ともに認める福祉用具業界のリーディングカンパニー。「現場との一体感、双方向主義の経営を大事にしたい」とし、「静岡発祥の会社であるという誇りを持って、今後も質の高いサービス、利用者にとって適切な商材の紹介など顧客の気持ちや、ニーズに応えた提案を心がけていきたい」。

東京にない地域の交流

東京でのビジネスのポイントを尋ねると、「東京はプレーヤーが多く、市場も随時変化し、求めるニーズは急速に変化していく。どいつた未来かを予測するのは難しいが、逆にそれを的確に把握できれば巨大市場故、売り上げ増に直結すると確信しています」。

東京で生まれ、育った。幼少のころ、祖父母の実家(旧清水市)に行った時の思い出が忘れられないという。「商店街の喫茶店や本屋さんで家族ぐるみ交流を通じ、東京ではない地域のつながりを強く感じた。取引先においても先代、先々代からの懇意な関係も継続している。そこが静岡の良さだと思います」。

「まだ社長業に慣れていないものですがから」と最後まで控えめな山下さん。静岡への誇りを胸に暖簾にあぐらをかかない姿勢がいい。(文：長田義明、写真提供：(株)ヤマシタコーポレーション)

経歴

東京都生まれ。本籍は静岡市清水区。慶應義塾大学法学部卒業、2010年、株式会社ヤマシタコーポレーション入社、13年、代表取締役専務を経て、同年、代表取締役社長に就任。26歳。

静岡県民間在宅福祉サービス事業者協議会会長、エコール協議会会長、日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)理事。

<http://www.yco.co.jp>